

平成31年度 ICT戦略室運営方針(素案)

(室長: 田畑 龍生)

◆計画

室の目標 (何をめざすのか)	
徹底したICTの活用により、市民サービスの向上、ビジネスの活性化、行政運営の効率化を推進し、活力と魅力のある大阪の実現をめざす。	
室の使命 (どのような役割を担うのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・最先端ICT都市の実現に向け、困難な課題にも果敢に挑戦し、新たなICTを積極採用し、戦略的にICT施策を推進する。 ・全市的なICTの全体最適化が図られるよう各局・室の指導・調整その他の支援を行う。 	
平成31年度 室運営の基本的な考え方 (室長の方針)	
市長の方針を踏まえたICT政策 (ICT戦略及びアクションプラン)を着実に実施するように調整・支援するとともに、全市的なICTの徹底活用を推進する。	
重点的に取り組む主な経営課題 (様式2)	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題1】ICT戦略の推進 各所属の業務課題・懸案等を共有し、業務課題の解決策となる「ICTを活用した施策等」の企画立案及び実行を支援していく。	【1-1 アクションプランの推進】 「大阪市ICT戦略アクションプラン(2018年度～2020年度)」を推進するとともにICTの革新はめざましく、次々と新しい技術や活用事例も多く生じることから、アクションプランに掲げる取組みについて必要な追加・修正・見直し等を随時行う。
主な具体的取り組み (31年度予算算定見込額)	
【1-1-1 行政手続きオンライン化の推進】[予算算定見込額 170百万円] 【1-1-2 データ分析に基づく事業施策立案(EBPM)の推進】[予算算定見込額 -円]	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題2】情報セキュリティ管理体制の実効性確保 ・最新ICTの動向に即応した情報セキュリティ戦略を国の施策及び本市のICT戦略が示す方向性に合わせて立案する。 ・最新のサイバー攻撃手法や被害発生時のリスク、本市が受ける影響の大きさについての理解を管理者層に浸透させる。 ・現状の情報セキュリティに係る統一的な窓口を強化し、即時性のある体制を構築するとともに、情報セキュリティインシデント対応計画を策定し、インシデントの事前・事後の対応等について明確化する。	【2-1 情報セキュリティ戦略の立案・計画及び実行】 ・国の施策及び本市のICT戦略が示す方向性に合わせて策定する「情報セキュリティ戦略」に沿って、安全に安心して利用できるサイバー空間を確保し、情報セキュリティ対策の向上を目指す。 ・サイバー攻撃などの新たな脅威や最新のICTの動向に対応するため、情報セキュリティ管理体制の実効性を確保するとともに、必要に応じて情報セキュリティポリシーの改定を適切に行い、職員の情報セキュリティに関するリテラシー向上を図る。
主な具体的取り組み (31年度予算算定見込額)	
【2-1-1 市全体の情報セキュリティ戦略の検討】[予算算定見込額 18百万円] 【2-1-2 CSIRT機能の強化及び情報セキュリティリテラシーの向上】[予算算定見込額 10百万円]	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題3】ICTマネジメントの強化 ICTスキルをもって業務分析が行え情報システムの企画・開発・運用管理を担う人材の育成を行うとともに、ICT管理機能を組織的かつ継続的に運営できるよう構築する。	【3-1 ICT管理機能の再編成】 「ICT管理機能再編成計画(仮称)」に基づき、大阪市ICTのマネジメントレベルの向上を図る。 【3-2 情報システムのマネジメント強化のためのICT人材の育成】 「ICT人材育成計画(仮称)」に基づき具体的な育成施策を実施しながら、随時、見直し・改善を行う。
主な具体的取り組み (31年度予算算定見込額)	
【3-1-1 ICT管理機能再編成計画(仮称)の実行】[予算算定見込額 -] 【3-2-1 情報システムに関わる職員の人材育成】[予算算定見込額 2百万円]	

「市政改革プラン2.0」に基づく取り組み等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
内部統制のPDCAサイクルの実施	把握したリスクに対する対応策の有効性の検証を行い、不備等があれば修正し、リスク対応策の改善を行う。

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取組みたいこと

解決すべき課題と今後の改善方向